

2018 年度（平成 30 年度） 第 2 回理事会次第

日 時：2018 年 6 月 24 日（日）10：00～
会 場：ホテルリブマックス 2 階会議室
（ 千葉県美浜区幸町 2-3 ）

1. 出席者及び資料の確認
2. 開 会
3. 会長挨拶
4. 議 題
 - (1) 会長と三役会からの報告
 - (2) 各委員会報告事項に対する質疑
(事前送付資料によりご確認ください)
 - (3) 議事
 - ① 平成 30 年度補正予算について
平成 30 年度消費税・市県民税の納税額確定に伴う租税公課の金額変更
 - ② 個人情報取り扱いについて
 - ③ 役員報酬について
 - ④ 平成 30 年度の三役及び各委員会担当理事について
 - ⑤ 第 6 回定時総会について
5. 閉 会
 - 次回理事会予定 第 3 回 理 事 会：2018 年 7 月 29 日(日)10：00～
場 所：千葉県社会福祉士会 事務局会議室

【添付資料】

「点と線 97 号」別紙

【報告事項】

1 点と線発行の進捗

(1) 第 97 号のページ割り振り 別紙参照

①特集『これからの社会福祉士会を語る』

・理事監事の皆さん ご協力ありがとうございました！

②誌面スーパービジョン ③地域集会（印西・栄・成田・富里地区）④社会福祉士の輪 ⑤事務局便り

(2) スケジュール

7 月 3 日（火）同封物（研修案内等）原稿〆切 → 事務局へメール office@cswchiba.com で

7 月 23 日（月）の週 発送

2 平成 30 年度ゆうメール料金値上げへの対応

前回理事会で出したとおり、予算執行は、7 月末の予定、不足が想定される支出については、予備費からの流用で対応します。

【理事会決議・承認依頼事項】

3 理事会年間スケジュールの HP へのアップについて

千葉県社会福祉士会 HP 「会員の皆様へ」 「総会理事会議事録」

日程のご確認いただく際にご活用ください。

本日の理事会で、今後傍聴の希望があった場合の承認を確認したい。

(1) 傍聴を認めるか 是 ・ 非

(2) 認める場合 対象を制限するか 制限しない・ 制限する （会員まで？その他？）

(3) 認める場合 事務局に理事以外のからから傍聴の希望があった場合の対応案

①希望があった場合は予め（氏名、住所、電話番号、会員 or 非会員）を受け付ける

②総会と異なり、会員でも意見は出せないことを前もって説明する。

③当日傍聴人の名簿（氏名、住所、電話、会員 or 非会員）をとる

（参考）

総会は、すべての代議員をもって構成する。代議員を除く正会員、準会員及び賛助会員は、総会に出席して意見を述べることができる。（定款 第 5 章 第 19 条）

理事会は、理事をもって構成する。（定款 第 6 章 第 19 条）

4 千葉県社会福祉士会パンフレット（当日配布資料）

今まで使用していたものを手元に配布します。今年度中に改訂、増刷します。

各部会等から改訂へ向けての意見集約をお願いします。

次回理事会にお伺いします。



No. 97

発行人 渋沢 茂

発行所・事務局一般社団法人千葉県社会福祉士会
〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港7-1

塚本千葉第5ビル3階

TEL 043-238-2866

Fax 043-238-2867

<http://www.cswchiba.com/>

E-mail: office@cswhiba.com

※ 点と線はメール配信でも読めます！

特集 新任理事・幹事 これからの社会福祉士を語る



2014年、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義が IFSW および IASSW のメルボルン総会において採択された。それは2001年の旧定義からの変革である。

ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問であり、ソーシャルワークの理論、社会科学、人文学および地域・民族固有の知を基盤として、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける（一部抜粋）。

ミクロからマクロへ、理論の活用から知の利用へ、使命は解説から任務へと変わった。

千葉県社会福祉士会、新体制始動！！

＜ 特集 ＞

- 2 新任理事・幹事 これからの社会福祉士を語る
平成30年度 千葉県社会福祉士会新理事体制
- 7 誌面スーパービジョン
- 8 地域集会 印西・栄・成田・富里地区
- 9 社会福祉士のわ
- 10 事務局便り

特集

新任理事・監事

これからの社会福祉士会を語る

千葉県社会福祉士会会長

渋沢 茂（しぶさわ しげる）



六月二四日の総会で、今期も会長になりました渋沢です。プロフィールや会長になるまでの経緯と、当時考えていた課題などは二〇一六年七月発行の点と線九一号をご参照ください（千葉県社会福祉士会ホームページから見られます。以下、理事会や総会の議事録も同）。まずは二年間会長を務めさせていただいて、印象的だったことをいくつか記します。

一つ目は「ささえ合い制度（負担金制度）」のことです。制度のあり方と運用について様々な意見がありました。スペースが限られているので詳細は省きますが、平成二十七年には当時の会長宛に会員有志の方から質問及び要望の文書をいただいていたのですが、明確な回答を示すことができなかったままに新執行部に引き継がれました。平成二十九年三月理事会では沢山のご意見をいただきました。これまでの経緯もある程度まとめて答えていますので興味がある方は議事録を参照ください。その後、制度を作った方、ばあとなあの方と話し合いをしました。公開の意見交換会も行いました。一つのこと（制度）について、かくも異なる見方があることを思いました。時代や立場の違いによって見えてくるものが変わって

くるのだと思います。お一人お一人の考えを伺って、現状を整理して、持っている情報を公開しました。そして制度の課題とあり方を一緒に考えました。とても時間がかかりましたが、一定の方向性をようやく共有することが出来ました。これからどうするか、もうひと頑張りです。

二つ目は代議員制度についてです。代議員の方には年間二回の総会に出席いただいています。皆さんに気持ちをもってご参加をいただいているのですが、総会の場合だけではお伺いできていないと感じていました。せっかく来てくださったのににもったいない。そこで平成二十九年六月総会の後には代議員の方との交流会を行いました。以後、交流会は総会後に定例で行っています。

平成三十年三月の総会では、事業計画と予算の決議権を総会から理事

会に移すことを規定した定款の変更について、沢山のご意見をいただきました。会場の雰囲気は否定的な意見が多数で、参加した代議員十四名のうち賛成は三名のみでしたが、書面での二七の賛成票を合わせて議事は承認されることになりました。現場の議論を決議に反映することができませんでした。議事を承認したことは定款で定められた手順に沿ったことで間違いのないことなのですが、個人的には違和感を抱いているところだと思います。さて、これからどうしたものか：

ウィキペディアで「職能団体」とググってみると、このように記されています。

「職能団体とは、法律や医療などの専門的資格を持つ専門職従事者らが、自己の専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するための組織である。同時に、研究発表会、講演会、親睦会の開催や、会報、広報誌などの発行を通して、会員同士の交流などの役目も果

たす機関でもある。」そして、興味深いことに、「主な職能団体」の項目には数多ある団体を外に、見事に「社会福祉士会」は（本稿執筆の時点で）その名が記されていません。なるほどと思います。社会福祉士の「専門性」は確立していないのではないかと僕は思うからです。

そして、皆さんは日本社会福祉士会の倫理綱領、読んだことありますか？僕はこれ、ちよつと気に入りました。理由の一つは「サービス利用者本位の質の高い福祉サービスの開発と提供に努めること」とされていること。福祉はサービスで良いのか？目の前にいる彼や彼女との関係を「利用者」と位置付けて良いのか？と思います。それに、この倫理綱領では、現実在即して、どんな職場で働く社会福祉士をイメージしているのだろうかと思議です。あまりにもキレイごとすぎるのではないだろうかと思います。

これから千葉県社会福祉士会が目指したいことを二つ記します。

一つ目として、社会福祉士の資格を持った方が働いている環境は幅広いです。考えていることの違いもとても大きいです。先述したように社会福祉士の専門性とは何かは確立されていないと思います。ですから社会福祉士会が会として一つの方針を持つてまとまるのは無理があるのではないかと思うのです。無理にまとまろうとすればバラバラになつてしまふのではないかとも思います。まず目指すべきことは、お互いの考えや実情を理解し合うこと。そして、自身が謙虚になつて相手をリスベクトする。そんな事ではないかと思ひます。

二つ目は、千葉県社会福祉士会が、一人一人のやりたい事が出来る場になると良いと思います。学習会とかイベントとか話し合いの場を作るのととか。社会福祉士会を使って活動が出来る場になると良いと思います。そのために今年度は予算の中で予備費を多くとり、年度中の予算補正を

行いやすい仕組に変えています。やりたいこと、やつてほしいこと、興味関心があること、ご意見をいただければ幸いです。

平成三十年度

千葉県社会福祉士会新理事体制

会長…渋谷茂

副会長…常陸谷政彦、四ノ宮章、

浅見雅人

事務局長…榊林元樹

事務局次長…岡本武志、竹嶋信洋

総務委員会（企画・広報）…

岡本武志、山口利史、古澤肇

総合相談委員会（地域包括・相談

事業）…竹嶋信洋

研修委員会（研修啓発）…

浅見雅人、宮本哲男、宮下朱実

司法福祉委員会…大浦明美

ぱあとなあ…小川晴雄、四ノ宮章

災害対策委員会…

市原久夫、服部明

松戸市事業…宮本哲男、竹嶋信洋

監事…山口定之、奥野不二子

常陸谷 政彦

(ひたちや まさひこ)

おらが町に福祉施設ができて数十年、在宅サービスができて十数年、当初、なんか嫌だなんて思う人もいたけど、今ではすっかり社会資源のひとつになっていく。福祉って流動的で時代とともに形も変わる。ぼんやりしているけど、その形をつくり続けること。それと業界にとらわれず開放的に社会と結びつける普通の感覚も大事なかな。

2 常陸谷氏写真

四ノ宮 章

(しのみや あきら)

多様な生活課題を抱える人々が増加しつつある中、「人権擁護」を職業倫理とする社会福祉士は、他専門職や行政、地域住民とともに、創意工夫に満ちたソーシャルワークを展開していくことが求められています。千

葉県社会福祉士会がそうしたソーシ

ヤルワークを支える役割をいささかでも担うことができれば、と考えています。

浅見 雅人

(あさみ まさと)

当会の存在意義は、会員である社会福祉士がどう動くのかと共に当会が社会の目線に合った組織になっているか、それとも間違った方向に向いているかに尽きるところです。専門団体としてまずは何をしなけれ

4 浅見氏写真

3 四ノ宮氏写真

樽林 元樹

(くればやし もとき)

熊本地震のお手伝いに行った時に一緒に活動した宇土市のSWのお話を紹介します。「熊本県社会福祉士会」は地震が起きる少し前に総会があり、そのあと、熊本城に皆でお花見に行ったんです。熊本地震が起きて大変だけれど、お城も倒れないで頑張っているんだから、皆で頑張ろう！という合言葉で被害の大きかった地域をみんなで手伝っているんですよ。」東日本大震災の時、私も浦安でたくさん仲間に助けてもらいました。仲間同士気にかけてあえる素敵な絆でつながっている社会福祉士会を大切にしていきたいです！

5 樽林氏写真

竹嶋 信洋

(たけしま のぶひろ)

情熱カラ回り、の竹嶋です。渋沢

会長と樽林事務局長なら「何かが変わる！」そう信じてお仕えしております。本会への加入率は低空飛行を続けてますが、そのこと事態は大事ではないです。しかし、せっかくある団体です。ここに来たら「オラ、ワクワクすぞ！」となるような団体にしたいです。北海道でロケットを作っている植松努さんの「どーせ無理」をなくそう。この言葉を信じ、会の活動に取り組んでいきます。

6 竹嶋氏写真

岡本 武志

(おかもと たけし)

社会福祉士が、成年後見や病院・行政機関などで活躍するようになってきた現状ではありますが、社会福祉士の専門性が世間どの程度認知されているのか疑問に思っています。これからの社会福祉士は、自己研鑽

に励むとともに、自身の専門性を積極的に表明することで、世間からの信頼獲得に努めていく必要があると考えます。

7 岡本氏写真

山口 利史

(やまぐち としふみ)

孤立しがちな利用者を支える社会福祉士には、バラバラになりがちな一つ一つの点を結ぶやさしさと、線と線を包み込むおらかさが求められます。社会福祉士会はそれを蓄えられるような仲間たちの集まりでありたい。『点と線』がその出会いの一助になればと思い、広報していきます。

8 山口氏写真

小川 晴雄

(おがわ はるお)

理事として社会福祉士会の活動に参画して思うことの一つに、代議員制度の機能が生かされていないことを痛感しています。地域会員の声が届く仕組みづくりを考え、会の活動が会員や地域に生かされるように努めます。

9 小川氏写真

大浦 明美

(おおうら あけみ)

司法福祉委員会では、主に刑事司法ソーシャルワーカー養成講座の開催と、マッチング支援事業により弁護士と協働して軽微な罪を犯した障害者等の福祉的支援を行っています。この社会福祉の新たな領域は、高齢者福祉、障害者福祉等各領域の知識と経験が役立ちます。会員の皆さま、委員会に入って実践と研究を積み重ねませんか。

10 大浦氏写真

宮本 哲男

(みやもと てつお)

社会福祉士は移り変わる時代(政策・制度)や福祉ニーズに絶えず対応しなくてはなりません。社会福祉士が多様な分野に進出している一方で、個々の専門分野に埋没してはいないでしょうか。会は専門職の団体として会員を強力にサポートしていく必要があると思います。ただ、忘れてほしくないのは会を構成する皆さんの力がより必要であるということです。

11 宮本氏写真

宮下 朱実

(みやした あけみ)

「ばあとなあ」で後見人を受任し、多くの課題や問題の解決に向けて活動している。被後見人の今日までのことを理解し、死を迎えるまで寄り添う仕事である。社会福祉士としての倫理綱領は勿論のこと理論を意識し行動記録を残す。これからの社会福祉士として、社会福祉士会生涯研修制度の豊富な研修を受けながら専門性を高めていきたい。

12p 宮下氏写真

市原 久夫

(いちばら ひさお)

「社会福祉士って何？」大方の世間の見方でしょうか。少子高齢化など地域課題に取り組む中心的存在として期待に応えられているか。地域住民、行政、他の機関、他の職種との連携の中心になり、ソーシャルワーク機能を発揮すること。社会福祉士の存在意義を高め、責任を果たすこと。日頃の仕事の延長線上にそんな活動を地域でやれる社会福祉士。それを繋ぎ合わせ、支援するのが社会福祉士会ですよね。

13 市原氏写真

服部 明

(はっとり あきら)

このテーマを「これからの社会福祉士会に期待されること」として捉えるならば、地域共生社会の実現に資する体制構築を推進するソーシャル

ルワーク専門職としての社会福祉士が、実際に果たしている役割や成果を、社会福祉士会会員や非会員社会福祉士、他のソーシャルワーク専門職、さらには地域・社会の人々に伝えていくことで、私たちに対する理解と共感を高めていくことも、その一つであると考えます。

14 服部氏写真

古澤 肇

(ふるさわ はじめ)

会への期待として、一つ目は「魅力があり、喰えるソーシャルワーカー― 鷹アルの探求」をしていきませんか？未来ある世代に旗印を掲げていきたいと考えます。

二つ目として各エリアでの研修会等の開催を望みます。

地域の実情や内容に合わせて研修会場等を考慮していきませんか？社

会福祉士会の変革を矜持をもって共に取り組みましょう。

15 古澤氏写真

山口 定之

(やまぐち さだゆき)

能力優先、合理化優先、利益追求型資本社会はどこか殺伐としている。それらに適応困難な一定層の大人や子供が罪もないのにひきこもりや不登校、反社会的行動、様々な精神症状などにつながっているような気がしてならない。福祉や介護の事業に、そのような利益追求型の仕組みは似合わない。現代社会とは異なる環境で彼らの居場所を作ろう。

21 山口定之監事写真

奥野不二子

(おくの ふじこ)

生活支援体制整備事業の二層コ！ダイネーターとして、主に地縁団体の方と一緒に地域支えあいの仕組みづくりに取り組んでいます。モデルのない事業なので、関係者が連携し試行錯誤で進めています。会の地域福祉活動部門の一つとして、多くの会員がこの事業に参加されることを期待しています。

21 奥野監事写真

【報告事項】

1. 地域集会実施報告及び実施予定

日 時	地 区	世話人	内 容	参加 人数
4 月 8 日(日)	印西	市川 澄子	「認知症介護研修」 ② 認知症の人の理解と対応 ②認知症疾患医療センターについて	27
5 月 26 日(土)	長生・夷隅	宇津木 河野	テーマ 他職種連携のコツ～お互いの役割を知る ことから始めるつながり～ ・職業紹介 ・お互いの役割をするためのディスカッション	77
6 月 9 日(土)	山武	西沢 将行	地域医療の今までとこれからと ～レジェンドが語る未来へのメッセージ～	27
6 月 15 日(金)	緑区	鈴木さやか	生活困窮者世帯への対応 ～生活自立・仕事相談センター中央の仕事から学 ぶ～	
6 月 30 日(土)	船橋・鎌ヶ谷	鳥居靖子 佐藤むつみ	「福祉信託について」	
7 月 22 日(日)	印西	市川 澄子	①触法高齢者・障害者の支援を知る 千葉県地域定着支援センターの取り組みと実 戦報告 ②施設見学 複合型福祉施設 フラットビレッジ	

【添付資料】

【活動報告】

1 千葉家裁・3専門職団体連絡会議参加の件

日 時：平成30年5月16日（水） 15：00 ～ 16：40

場 所：千葉家庭裁判所会議室

参加者：四ノ宮・小川

- ・千葉家裁は、各市町村の「基本計画」の策定等への協力を最大限行うので、各専門職団体にも連携、協力を期待。
- ・また、「本人に相応しい後見人の選任」にあたり、関係三団体と考え方の共有を進めること。その為に、連絡会を今後も2～3ヶ月ごとに開催予定。

2 2018年度 都道府県ぱあとなあ連絡協議会参加の件

日 時：平成30年5月26日（土） 11：30 ～ 17：40

5月27日（日） 9：00 ～ 16：00

場 所：東京文具共和会館

参加者：四ノ宮・小川

- ・成年後見制度利用促進について
- ・2018年度権利擁護センターぱあとなあ事業について
- ・中核機関設置に伴う地域の権利擁護体制における社会福祉士会の役割

3 部会報告

- ・研修部会：①第1回必須登録員研修（7月1日）150名参加申込
②第1回レベルアップ研修会（7月14日）36名参加申込
- ・コーディネート部会：依頼案件の増加。山武地区などは登録者が少なく
斡旋に苦慮。
- ・業務管理部会：定期報告書の読み込み。面接（8月下旬～9月予定）
- ・リスクマネジメント部会：7月部会開催予定
- ・渉外：ミニパンフレットの増刷と配布。
- ・広報：ぱあとなあ千葉ニュース（7月発行）記事内容の検討

4 議 題

- ①平成30年度 組織体制
- ②法人後見：執務担当者の件
- ③ささえあい制度：ワーキンググループの検討と適用申請書の整理
- ④未成年後見人：名簿登録など来年2月を目途に整備
- ⑤登録会員の要望と取扱いについて

【理事会決議・承認依頼事項】

【添付資料】

なし

【報告事項】

活動状況等

1 弁護士との協議会

日 時 平成 30 年 5 月 23 日 午後 6 時から

参加者 4 名

概 要

(仮) 刑事司法ソーシャルワークの実務の出版について

2 司法福祉委員会

日 時 平成 30 年 6 月 10 日 午前 9 時から

参加者 5 名

概 要

刑事司法ソーシャルワーカー養成講座（基礎編）に向けての打ち合わせ 他

【報告事項】

- ・災害対策研修会の開催について

日時：平成 30 年 9 月 30 日（日）

場所：社会福祉センター中研修室

講師：佛教大学 後藤至功先生

災害時は会員の安否確認はもちろん、委員会の構成委員にも大きな影響をもたらします。役員の方は率先して参加していただき、また、災害に対して意識の高い受講生が増えるよう促してください。

当会以外の会議、イベント等

- ・関東甲信越ブロック災害連携会議

日時：平成 30 年 5 月 26 日（土）13：30～15：30

場所：長野県社会福祉士会事務局 長野市南県町 685・2 長野県食糧会館 6F

現在、サイボウズによる連絡体制を取っていますが、無料サービスが終了するというので、STOCKを使用しての連絡体制に移行を計っています。

圏内社会福祉士会で災害の認定研修を予定しているところもあります。当会として単独開催は難しいため、開催する場合は他県と合同研修となります。

- ・災害に関する県内士業間連携に関する協議会

日時：平成 30 年 6 月 27 日（水）17：30～19：00

場所：千葉県弁護士会館で開催予定。

議題：協議会の名称、各団体の役割等の検討

課題：千葉県VC連絡会と重複も予想されるため、発足した際に正式に加入することでメリットとデメリットの見極めが必要となります。

- ・千葉県災害ボランティアセンター連絡会 第一回定例会

日時：平成 30 年 6 月 22 日（金）15：30～17：15

場所：日本赤十字社千葉県支部

議題：新規会員団体の入会、9 都県市合同防災訓練に係る訓練内容

- ・第 39 回 9 都市合同防災訓練

日時：平成 30 年 8 月 23 日（木）訓練リハーサル

日時：平成 30 年 8 月 26 日（日）開催

場所：勝浦市 勝浦中学校

6 月 22 日の災害VC連絡会で当会会員も訓練への参加が了承されれば、ホームページを利用させていただき参加者を募る予定です。

【添付資料 1】

当日配布資料①-総会資料 P 26-収支計算書の差異の一部、計算式無し

当日配布資料②-総会資料 P 26-収支計算書の差異の一部の計算式を修正

【報告事項 1】

総会資料 P 26-収支計算書の差異の一部に計算式が抜けていた

添付資料の当日配布資料①および②で報告する

【添付資料 2】

添付①-平成 30 年度補正予算について

添付②-平成 30 年総括表

【報告事項 2】

平成 30 年度 消費税・市県民税の納税額確定し、租税公課の金額が変更となった

【理事会決議・承認依頼事項】

平成 30 年度 消費税・市県民税の納税額確定に伴う租税公課について補正予算のご承認をお願いしたい

【報告事項 3】

・2018 年 4 月 1 日より事務委託解除されたことにより、年会費（15,000 円および手数料 118 円）徴収および、ぱあとなあ千葉名簿登録料（10,000 円および手数料 118 円）について直接徴収となった

・5 月 14 日にご逝去された千葉会会員が、ぱあとなあ千葉名簿登録員であった

・この会員については、4 月 12 日に 2018 年度年会費 15,000 円を口座振替により徴収が完了しているが、2018 年度名簿登録料徴収予定日は 6 月 27 日を予定していた

・6 月 27 日の名簿登録料徴収については、ぱあとなあ千葉運営委員長、副委員長に報告の上、「徴収しない」とご指示をいただいた

【理事会決議・承認依頼事項】

年会費徴収および、ぱあとなあ千葉名簿登録料徴収について、「4 月 1 日現在所属が年会費の要件だとしても、引落の前にご逝去された場合、年会費および名簿登録料について、『引落前（徴収前）であれば自動振替（徴収）手続しない』ことを内規として定めたい ご承認をお願いしたい

【内規の追記】

『引落停止が間に合わず引き落とされたらどうするか』『引き落とされた後、ご親族からご連絡が来た』等々様々なケースは都度、相談対応とする

平成29年度 収 支 計 算 書

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

収入の部

科目	H29予算額	決算額	差異	説明
1 会費収入	22,328,000	22,340,000	△ 12,000	
1 正会員会費	21,800,000	21,830,000	△ 30,000	正会員1,411名
2 準会員会費	18,000	8,000	10,000	準会員4名
3 賛助会員会費	10,000	12,000	△ 2,000	賛助会員2名
4 ささえあい負担金	0	0	0	
5 入会金	500,000	490,000	10,000	新入会98名
2 登録料	2,500,000	2,510,000	△ 10,000	
1 ばあとなあ名簿登録料	2,500,000	2,510,000	△ 10,000	名簿登録員251名
3 事業収入	21,023,365	23,297,985	△ 2,533,620	
1 総務事業	0	0	0	
2 総合相談事業	1,512,000	1,378,000	132,000	
3 高齢者虐待防止対策研修会(県事業)	1,300,000	1,342,000	△ 42,000	
4 高齢者虐待対応専門チーム	210,000	36,000	174,000	
5 スクールソーシャルワーカー研修	1,000	0		修正前
6 千葉県高齢者虐待対応マニュアル改訂事業	1,000	0		修正前
3 研修事業	4,539,000	6,702,360	△ 2,420,360	
3 基礎研修Ⅰ	897,000	355,000		修正前
4 基礎研修Ⅱ	1,200,000	1,485,000		修正前
5 基礎研修Ⅲ	650,000	885,000	△ 235,000	
6 ジェイシー教育研究所web模試問題作成	1,000	1,422,360	△ 1,421,360	
7 社会福祉士取得支援講座(大学等)	1,000	1,300,000	△ 1,299,000	
8 実習指導者講習会	450,000	605,000	△ 155,000	
9 実習指導者フォローアップ研修	350,000	0	350,000	
10 淑徳大学4年次正課プログラム	540,000	480,000	60,000	
12 社会福祉士ワンアップ研修	100,000	60,000	40,000	
13 社会福祉士ファシリテーター研修	350,000	110,000	240,000	
4 ばあとなあ千葉運営事業	2,155,000	2,191,260	△ 36,260	
1 委員会運営		140,820	△ 140,820	
4 成年後見制度活用講座	196,000	184,080	11,920	
5 成年後見人養成研修(委託集合研修)	750,000	600,000	150,000	
6 法人後見事業	216,000	232,360	△ 16,360	
11 ばあとなあ千葉ニュース	80,000	52,000	28,000	
13 新規登録員研修(名簿登録研修)	20,000	89,000	△ 69,000	
14 必須登録員研修	200,000	271,000	△ 71,000	
15 千葉サポート	225,000	337,000	△ 112,000	
16 レベルアップ研修	180,000	69,000	111,000	
18 テーマ別弁護士との事例検討会	288,000	216,000	72,000	
5 司法福祉	690,000	900,000	△ 210,000	
2 司法福祉学習会	30,000	0	30,000	
3 刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(基礎編)	300,000	480,000	△ 180,000	
4 刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(応用編)	300,000	420,000	△ 120,000	
5 マッチング支援	30,000	0	30,000	
6 弁護士との協働事例集作成	30,000	0	30,000	
6 その他	12,127,365	12,126,365	1,000	
2 災害対策研修	1,000	0	1,000	
7 居住確保支援事業	12,126,365	12,126,365	0	
4 助成金	100,000	0	100,000	
5 寄付金	150,000	300,000	△ 150,000	
6 繰越金	1,000	0	1,000	
7 雑収入	350,000	95,189	254,811	
合計	46,452,365	48,543,174	△ 2,349,809	修正前

平成29年度 収 支 計 算 書
平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

収入の部

科目	H29予算額	決算額	差異	説明
1 会費収入	22,328,000	22,340,000	△ 12,000	
1 正会員会費	21,800,000	21,830,000	△ 30,000	正会員1,411名
2 準会員会費	18,000	8,000	10,000	準会員4名
3 賛助会員会費	10,000	12,000	△ 2,000	賛助会員2名
4 ささえあい負担金	0	0	0	
5 入会金	500,000	490,000	10,000	新入会98名
2 登録料	2,500,000	2,510,000	△ 10,000	
1 ばあとなあ名簿登録料	2,500,000	2,510,000	△ 10,000	名簿登録員251名
3 事業収入	21,023,365	23,297,985	△ 2,274,620	
1 総務事業	0	0	0	
2 総合相談事業	1,512,000	1,378,000	134,000	
3 高齢者虐待防止対策研修会(県事業)	1,300,000	1,342,000	△ 42,000	
4 高齢者虐待対応専門チーム	210,000	36,000	174,000	
5 スクールソーシャルワーカー研修	1,000	0	1,000	計算式修正後
6 千葉県高齢者虐待対応マニュアル改訂事業	1,000	0	1,000	計算式修正後
3 研修事業	4,539,000	6,702,360	△ 2,163,360	
3 基礎研修Ⅰ	897,000	355,000	542,000	計算式修正後
4 基礎研修Ⅱ	1,200,000	1,485,000	△ 285,000	計算式修正後
5 基礎研修Ⅲ	650,000	885,000	△ 235,000	
6 ジェイシー教育研究所web模試問題作成	1,000	1,422,360	△ 1,421,360	
7 社会福祉士取得支援講座(大学等)	1,000	1,300,000	△ 1,299,000	
8 実習指導者講習会	450,000	605,000	△ 155,000	
9 実習指導者フォローアップ研修	350,000	0	350,000	
10 淑徳大学4年次正課プログラム	540,000	480,000	60,000	
12 社会福祉士ワンアップ研修	100,000	60,000	40,000	
13 社会福祉士ファシリテーター研修	350,000	110,000	240,000	
4 ばあとなあ千葉運営事業	2,155,000	2,191,260	△ 36,260	
1 委員会運営		140,820	△ 140,820	
4 成年後見制度活用講座	196,000	184,080	11,920	
5 成年後見人養成研修(委託集合研修)	750,000	600,000	150,000	
6 法人後見事業	216,000	232,360	△ 16,360	
11 ばあとなあ千葉ニュース	80,000	52,000	28,000	
13 新規登録員研修(名簿登録研修)	20,000	89,000	△ 69,000	
14 必須登録員研修	200,000	271,000	△ 71,000	
15 千葉サポート	225,000	337,000	△ 112,000	
16 レベルアップ研修	180,000	69,000	111,000	
18 テーマ別弁護士との事例検討会	288,000	216,000	72,000	
5 司法福祉	690,000	900,000	△ 210,000	
2 司法福祉学習会	30,000	0	30,000	
3 刑事司法ソーシャルワーク養成講座(基礎編)	300,000	480,000	△ 180,000	
4 刑事司法ソーシャルワーク養成講座(応用編)	300,000	420,000	△ 120,000	
5 マッチング支援	30,000	0	30,000	
6 弁護士との協働事例集作成	30,000	0	30,000	
6 その他	12,127,365	12,126,365	1,000	
2 災害対策研修	1,000	0	1,000	
7 居住確保支援事業	12,126,365	12,126,365	0	
4 助成金	100,000	0	100,000	
5 寄付金	150,000	300,000	△ 150,000	
6 繰越金	1,000	0	1,000	
7 雑収入	350,000	95,189	254,811	
合計	46,452,365	48,543,174	△ 2,090,809	計算式修正後

平成 30 年度補正予算について

以下の補正予算案について理事会の承認を求めます

(提案理由) 平成 30 年度 消費税・市県民税の納税額確定に伴うもの

(補正内容) 平成 30 年度予算において、以下の科目を変更する

平成 30 年度 補正予算書 (案)

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位はすべて円)

支出の部

科目			補正前予算額	補正額	補正後予算額	備考
大項目	中項目	小項目				
4	租税公課		550,000	711,000	1,261,000	納税額が確定したため
総計			50,090,000	711,000	50,801,000	

支出の部

科目	中項目	小項目	H29予算額 (H29.6補正反映)	H30予算額	H30予算額－ H29予算額	備考
1 会費			7,350,000	344,000	△ 7,006,000	
1 会費			7,350,000	344,000	△ 7,006,000	
	1	日本社会福祉士会 正会員会費	7,350,000	344,000	△ 7,006,000	(1470人×200円)+(50人×1000円)日本会へ
2 事業費			22,781,000	29,076,000	6,295,000	
1 総務事業			1,573,000	1,745,000	172,000	
	1	企画部会運営費	15,000	20,000	5,000	
	2	三団体協働事業費	15,000	105,000	90,000	拠出金10,000円 通信費90,000円
	3	福祉人材定着対策費	250,000	450,000	200,000	地域集会所補助5,000円×20回 H30～新規講師補助10,000円×20回
	4	名簿作成費⇒H30廃 パンフレット作成費⇒ H30廃止(広報誌作成 費に含む)	200,000	0	△ 200,000	H30廃止 事務費に計上
	5	広報誌作成費	1,044,000	1,068,000	24,000	「点と線」年3回 パンフレット2,000部
	6	広報役務費⇒H29廃 止 広報誌作成費と	0	0	0	H29廃止
	7	広報部会運営費	36,000	90,000	54,000	
	8	WEB維持管理費	12,000	12,000	0	ホームページの維持経費
2 総合相談事業			1,447,000	1,755,000	308,000	
	1	委員会費⇒総合相談 委員会運営費(H30名 称変更)	45,000	45,000	0	H30名称変更(総合相談委員会運営費)
	2	高齢者虐待防止対策 研修会(県事業)	1,100,000	1,110,000	10,000	
	3	高齢者虐待対応専門 職チーム	240,000	240,000	0	
	4	無料相談事業	60,000	60,000	0	県民及び学生等対象
	5	スクールソーシャルワ ーカー研修⇒子ども・子 育で支援に関する取組 (H30名称変更)	1,000	30,000	29,000	
	6	千葉県高齢者虐待対 応マニュアル改訂事	1,000	270,000	269,000	
3 研修事業			3,304,000	5,593,000	2,289,000	
	1	委員会運営費⇒研修 委員会運営費(H30名 称変更)	60,000	60,000	0	H30名称変更(研修委員会運営費)
	2	県民公開講座(研究 大会・総会)	100,000	100,000	0	
	3	基礎研修Ⅰ	788,000	664,000	△ 124,000	
	4	基礎研修Ⅱ	884,000	1,036,000	152,000	
	5	基礎研修Ⅲ	473,000	1,053,000	580,000	
	6	ジェイシー教育研究 所web模試 問題作	1,000	1,130,000	1,129,000	
	7	社会福祉士取得支援 講座(大学等)	1,000	640,000	639,000	
	8	実習指導者養成研修 ⇒実習指導者講習会 (H30名称変更)	250,000	250,000	0	H30名称変更(実習指導者講習会) 40名×2日開催
	9	実習指導者フォロー アップ研修⇒H30廃止	74,000	0	△ 74,000	H30廃止
	10	淑徳大学4年次正課 プログラム⇒淑徳大 学講師派遣(H30名称 千葉県生涯研修セン ター委員会)	456,000	370,000	△ 86,000	
	11	社会福祉士ワンアッ プ研修(基礎研修Ⅰ ⅡⅢ修了者)	37,000	90,000	53,000	
	12	社会福祉士ファシリテ ーター研修⇒グループ ソーシャルワーク研修会 (H30名称変更)	180,000	200,000	20,000	H30名称変更(グループソーシャルワーク研修会)

支出の部

科目			H29予算額 (H29.6補正反映)	H30予算額	H30予算額－ H29予算額	備考
大項目	中項目	小項目				
4	ばあとなあ千葉運営事業		5,178,000	5,433,000	255,000	
	1	委員会費⇒ばあとなあ委員会運営費(H30名称変更)	216,000	300,000	84,000	ばあとなあ全体会予算21,500円含む
	2	部会交通費	188,000	180,000	△ 8,000	計16回 5つの部会交通費
	3	相談事業	583,000	583,000	0	週2回電話相談
	4	成年後見制度活用講座	160,000	188,000	28,000	
	5	成年後見人養成研修⇒成年後見人材育成研修・名簿登録研修(H30名称変更)	646,000	557,000	△ 89,000	H30名称変更(成年後見人材育成研修・名簿登録研修)
	6	法人後見事業	199,000	230,000	31,000	
	7	活動報告書読み込み作業	502,000	537,000	35,000	1次:1250件 2次:100件
	8	日本会登録員負担金等	400,000	371,000	△ 29,000	1400円×265名
	9	渉外活動	219,000	292,000	73,000	家裁、他団体、市町村に計8回 パンフ6,500部
	10	受任者面接	310,000	315,000	5,000	20回
	11	ばあとなあ千葉ニュース	244,000	244,000	0	年4回発行
	12	コーディネート会議	567,000	567,000	0	4名×24回
	13	新規登録員研修⇒H30廃止	20,000	0	△ 20,000	H30廃止
	14	必須登録員研修	250,000	247,000	△ 3,000	
	15	千葉サポート	175,000	225,000	50,000	
	16	レベルアップ研修	140,000	101,000	△ 39,000	
	17	家裁事務報告書指導	56,000	56,000	0	5回
	18	テーマ別弁護士との事例検討会	303,000	340,000	37,000	
	19	【H30新規】独立型社会福祉士事業サポ-	0	100,000	100,000	H30新規 年4回研修開催
5	司法福祉事業		590,000	568,000	△ 22,000	
	1	司法福祉委員会⇒司法福祉委員会運営費(H30名称変更)	90,000	91,000	1,000	H30名称変更(司法福祉委員会運営費)
	2	司法福祉学習会⇒H30廃止	30,000	0	△ 30,000	
	3	刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(基礎)	195,000	195,000	0	
	4	刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(応用編)	187,000	220,000	33,000	
	5	マッチング支援	70,000	62,000	△ 8,000	
	6	弁護士会との共同事例集の作成⇒H30廃止	18,000	0	△ 18,000	H30廃止

支出の部

科目			H29予算額 (H29.6補正反映)	H30予算額	H30予算額－ H29予算額	備考
大項目	中項目	小項目				
6	その他の事業		10,689,000	13,982,000	3,293,000	
	1	千葉県社会福祉士会 災害対策委員会	500,000	540,000	40,000	被災地支援90日分
	2	災害対策研修	1,000	126,000	125,000	1回
	3	千葉県社会福祉士会 倫理委員会	50,000	100,000	50,000	
	4	社会福祉士ささえあ い制度配分委員会	27,000	30,000	3,000	3回
	5	選挙管理委員会	30,000	100,000	70,000	
	6	法人監査業務委員会	45,000	100,000	55,000	
	7	居住確保支援事業	10,000,000	12,000,000	2,000,000	
	8	千葉県生涯研修セン ター	36,000	36,000	0	
	9	【H30新規】社会福祉 士会活性化事業	0	860,000	860,000	H30新規 会の発展と会員のつながり強化に取り組む事業
	10	【H30新規】講師派遣 事業	0	90,000	90,000	H30新規 会に直接講師派遣依頼があった際の科目
3	事務費		15,850,000	17,510,000	1,660,000	
	1	一般物品費	500,000	500,000	0	会員管理用事務消耗品代
	2	印刷製本費	1,050,000	1,250,000	200,000	総会資料2回30万、封筒15万、コピー機カウンター4.5 万×12か月 ※名簿作成費
	3	役務費	750,000	830,000	80,000	前期/総会通知2回(1500名×@77円×2回＝23万)、 NTT(2万×12か月)、切手代等
	4	慶弔費	30,000	30,000	0	
	5	賃金等	9,900,000	11,100,000	1,200,000	常勤契約3名、パート1名(社保・労働保険料・通勤費も 含む)
	6	使用料	1,750,000	1,760,000	10,000	塚本関係123万、コピー機等リース料31万(年リース・ 保守料含む)、パソコンリース料22万
	7	委託料	600,000	600,000	0	深澤税理士58.3万
	8	役員費用弁償	70,000	70,000	0	
	9	役員旅費	450,000	450,000	0	代議員旅費を含む
	10	役員選挙事務費	150,000	220,000	70,000	選管ハガキ、選挙公示ハガキ2回
	11	保険料	100,000	200,000	100,000	
	12	雑費	500,000	500,000	0	
4	租税公課		550,000	1,261,000	711,000	
5	敷金支出		0	0	0	
6	予備費		695,000	1,410,000	715,000	
7	配分金		2,100,000	1,200,000	△ 900,000	H28実績参考
総計			49,326,000	50,801,000	1,475,000	

【報告事項】

◇千葉県社会福祉士会会長職務執行状況 2018年5月13日～6月23日

【活動報告】

- 5月16日(水) 松戸市ホームレス生活困窮研究会参加
- 26日(土) 福祉と司法の交流キャラバン in 茂原
- 28日(月) 千葉県障害者虐待防止市町村職員研修講師
- 6月 6日(水) RUN 伴茂原キックオフミーティング参加
- 15日(金) 三役会
- 19日(火) 福祉と司法の千葉県連絡協議会
- 20日(水) 倫理委員会

◇各種委員会等

【委員推薦】

- 2018年4月1日～2019年3月31日 千葉県健康福祉部健康づくり支援課
平成30年度千葉県地域リハビリテーション協議会員 相澤 雅則副会長
- 2018年7月27日～2020年7月26日 千葉県社会福祉協議会 千葉県運営適正化委員会委員
目黒 義昭氏、伊達 雅則氏
- 2018年7月1日～2020年6月30日 茂原市社会福祉協議会
もばら後見支援センター運営委員 北山 静香氏

【講師派遣】

- 2018年6月22日 千葉県社会福祉協議会 平成30年度「福祉のしごと就職ガイダンス」
相談員 西沢 将行氏
- 2018年7月19日 仙台市役所 障害者差別解消担当相談員事例検討会第1回 講師 朽名 高子氏

【後援・協賛】

- 2018年6月10日 千葉県認知症ケア専門士会
第9回千葉県認知症ケア専門士会 基調講演後援

【日本社会福祉士会】

- 2018年6月16日 公益社団法人 日本社会福祉士会 第31回通常総会および
2018年度第1回関東甲信越ブロック連絡協議会 渋沢 茂会長出席

◇その他の活動

- 2018年6月1日 柏市役所地域包括支援課 成年後見制度利用促進意見交換会 四ノ宮 章氏出席

○2018 年 6 月 19 日 千葉県健康福祉部健康福祉指導課 地域における成年後見制度の利用促進
に向けた体制整備 市町村職員対象セミナー 小川 晴雄氏、四ノ宮 章氏出席

○2018 年 6 月 22 日 千葉県社会福祉協議会 VC 連絡協議会 平成 30 年度第 1 回千葉県災害ボランティアセンター連絡会定例会議 常陸谷 政彦氏、市原 久夫氏、服部 明氏出席

○2018 年 6 月 27 日 千葉県弁護士会他 災害対策士業連絡協議会
渋沢 茂会長、常陸谷 政彦氏、市原 久夫氏、服部 明氏出席

○2018 年 7 月 27 日 千葉県教育庁 千葉県いじめ問題対策連絡協議会
渋沢 茂会長、武田 由美氏出席予定

○2018 年 8 月 8 日 市原市役所 成年後見制度利用促進意見交換会 朽名 高子氏出席予定

****** 会員情報 ******

5 月 31 日現在正会員:1,485 名 (新入会: 34 名、転入:3 名、転出:3 名、退会:2 名)

2018(H30)年度 理事役職および所属委員会名簿

役職名	氏名	委員長 ◎	所属委員会(委員含む)
会長	渋沢 茂		総務・企画部会
副会長	常陸谷 政彦		災害
副会長	四ノ宮 章		ぱあとなあ
副会長	浅見 雅人	◎	研修
事務局長	樽林 元樹		災害
事務局次長	竹嶋 信洋	◎	総合相談
事務局次長	岡本 武志		総務・企画部会
理事	山口 利史	◎	総務・広報部会
理事	古澤 肇		総務・広報部会、ぱあとなあ
理事	宮本 哲男		研修、松戸事業
理事	宮下 朱実		研修
理事	小川 晴雄	◎	ぱあとなあ
理事	大浦 明美	◎	司法福祉
理事	市原 久夫	◎	災害
理事	服部 明		災害、ぱあとなあ

[研修委員会]

《報告》 研修啓発部会

1. 平成30年度基礎研修 報告

基礎研修Ⅰ(受講人数 78名)

平成30年9月1日(土)から開始

基礎研修Ⅱ(受講人数 56名)

①平成30年5月27日(日) ソーシャルワーク系理論系科目Ⅰ修了

②平成30年6月17日(日) ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ修了

基礎研修Ⅲ(受講人数 44名)

①平成30年5月26日(土) 実践評価・実践研究系科目Ⅰ修了

②平成30年6月23日(土) 実践評価・実践研究系科目Ⅰ及び

ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ修了

2. 千葉県生涯研修センター会議

平成30年9月16日 理事会 終了後 開催検討

3. ワンアップ研修

平成 30年 10月 28日(日) 13:30～16:30(受付は、13:00より)

テーマ リクスマネジメント